

平成26年度第1回山梨県文学館協議会次第

日時 平成26年10月20日(月)午後2時～

会場 県立文学館 研修室

開会

1 県教育委員会文化振興監あいさつ

2 会長あいさつ

3 館長あいさつ

4 議事

(1) 平成25年度事業報告等について

(2) 平成26年度事業報告及び予定等について

(3) その他

閉会

山梨県文学館協議会資料

平成26年10月20日(月)

山梨県立文学館

目次	ページ
<u>山梨県文学館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県文学館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立文学館活動報告(概要)</u>	6
<u>施設利用状況</u>	7
<u>観覧者数の推移</u>	8
<u>平成25,26年度展覧会の状況</u>	10
<u>教育普及事業について</u>	12
<u>資料情報課事業一覧</u>	21
<u>指定管理者活動報告</u>	24

山梨県文学館協議会委員名簿

任期:平成25年9月29日～平成27年9月28日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	はやかわきみと 早川 公仁	県市町村教育委員会連合会代表	社会教育関係 (笛吹市教育委員長)
"	たかの みちこ 高野 美智子	県社会教育委員代表	社会教育関係 (山梨県社会教育委員 、(一社)国際女性教育振興会 ^{業務執行理事} 山梨県支部長)
"	つたき まさきよ 蔦木 雅清	山梨文芸協会事務局次長	学識経験者(山梨文芸協会事務局次長)
"	むこうやまふみと 向山 文人	報道関係	学識経験者(山梨日日新聞社論説委員長)
"	うえまつ ゆうじ 植松 裕二	報道関係	学識経験者(テレビ山梨放送本部・報道制作局長)
"	すずき ひろあき 鈴木 弘亮	報道関係	学識経験者(NHK甲府放送局副局長)
"	いけだ なおたか 池田 尚隆	山梨大学教授	学識経験者
"	こすげ けんいち 小菅 健一	山梨英和大学教授	学識経験者
"	かずの つよし 数野 強	元山梨県教育長	学識経験者
"	あかさか ちせき 赤坂 治績	公募委員	学識経験者
"	うえの みほこ 上野 美穂子	公募委員	家庭教育関係者
"	しみず あやこ 清水 章子	公募委員	家庭教育関係者
"	おとぐる ゆきえ 乙黒 幸江	前中央市立玉穂生涯学習館館長	家庭教育関係者
任命	ふくしま なおみ 福嶋 尚美	県公立小中学校長会代表	学校教育関係(大月市立初狩小学校長)
"	なかごみ とみお 中込 富夫	県高等学校長協会代表	学校教育関係(塩山高等学校長)

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。(会長等)

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一(第二条、第四条関係)

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)第二十条第二項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年
山梨県文学館協議会	博物館法第二十条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務			

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平六教委規則二・旧第二条線下）

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ振興審議会	過半数

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年二回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（昭六一教委規則一・旧第十一条線下、平元教委規則五・一部改正）

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ振興審議会	スポーツ健康課

（昭六一教委規則一・旧第十二条線下・一部改正、昭六三教委規則七・平元教委規則五・平四教委規則三・平六教委規則二・平八教委規則四・平九教委規則八・平一九教委規則三・一部改正）

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

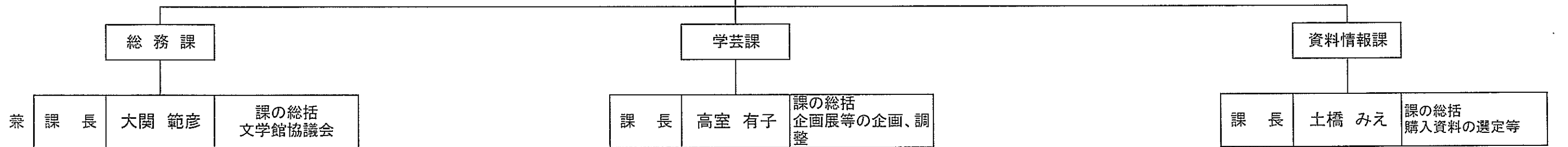
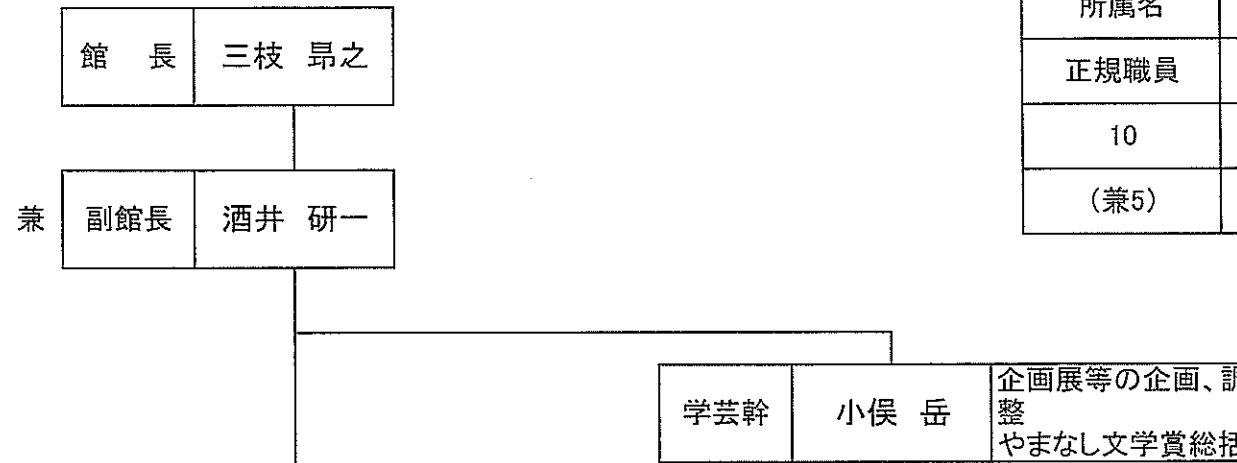
第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

文学館組織図

平成26年10月1日現在

所属名	県立文学館		
正規職員	非常勤嘱託	臨時職員	合計
10	7	1	18
(兼5)	(兼1)		(兼6)



職名	氏名	主たる業務
兼 リーダー 主査	名取 浩樹	担当の総括 予算管理
兼 主事	丸山 衛嗣	会計・経理
兼 主事	疋田 舞夢	会計・経理 旅費・福利
兼 非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会

学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	保坂 雅子	担当の総括 企画展・常設展の実施
学芸員	中野 和子	企画展・常設展の実施 文学講座
非常勤 嘱託	秋山 和江	ボランティア育成・指導 等
非常勤 嘱託	佐藤 明子	特殊資料の整理公開

教育普及担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 主幹・ 教育主事	小林 玲子	担当の総括 学校教育・生涯学習機 関との連携
主任・ 教育主事	古川 順子	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学 講座
学芸員	伊藤 夏穂	学校教育・生涯学習機 関との連携協力、文学 講座

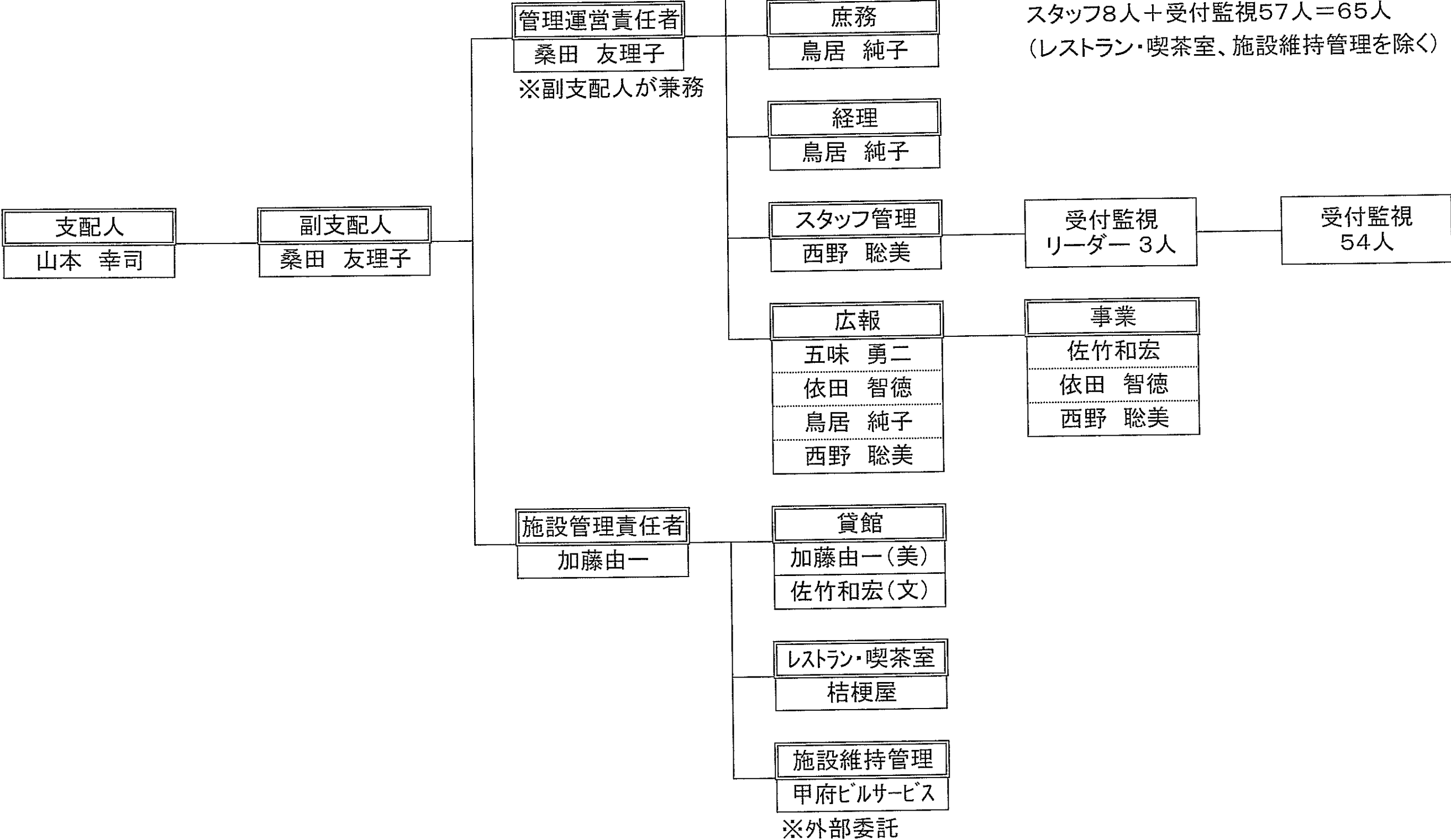
文学館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	千国 ちふみ	協力会業務

職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主幹	水上 百合子	担当の総括 図書、逐次刊行物の評 価・公開 図書、視聴資料データ 作成管理
司書	稲田 聡子	逐次刊行物のデータ 作成管理 文書検索システム
非常勤 嘱託	野田 恵	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	平尾 美帆	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	新井 淑水	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
非常勤 嘱託	矢崎 理江	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
臨時 職員	土屋 育正	逐次刊行物のデータ 作成管理 文書検索システム

※副館長及び総務課職員は、美術館と兼務

平成26年度指定管理者
組織体制(美術館と兼務)



山梨県立文学館活動報告(概要)

本館に求められるもの

県民の価値感の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対する質の向上やニーズも一段と高く、幅広いものとなってきている。このような中、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報／収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品(資料)を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力／たのしむ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

○平成26年度は、山梨県立文学館のあるべき姿や求められる姿を考究すべく制定された「基本理念」(平成25年4月1日制定)を自覚し実践するとともに、本県出身の村岡花子をモデルにしたNHKドラマとも連動させ、さらに魅力ある展示を実施、解説に力を入れるなど積極的な情報発信を行っていく。

平成25年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年四回春夏秋冬展示替えに加え、次の資料を期間限定公開また夏と冬は特別コーナーを設置

①長塚節 三井甲之宛書簡 ②二葉亭四迷 内田魯庵宛書簡 ③窪田空穂短歌軸装 ④足立源一郎 彩・スケッチ画 ・夏の常設展 村岡花子生誕120年の展示 ・冬の常設展 深沢七郎 生誕100年

第1室 山梨の文学風土(甲斐のうた・甲州の近世文学) 樋口一葉(朗読コーナー)

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介 生涯(誕生・少年時代・作家として・晩年)・書画・俳句・山梨との関わり朗読コーナー

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 生涯と作品

第5室 前期(9月まで)小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡 後期(3月まで)詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈富士の国やまなし国文祭記念事業〉 特設展「富士山と文学」4月～7月

〈夏休み展示〉特設展「あそぶぜ!かいけつゾロリのおたのしみ大きくせん～原ゆたかとゾロリのなかまたち」7月～8月

〈秋の企画展〉〈富士の国やまなし国文祭記念事業〉「与謝野晶子展 われも黄金の釘一つ打つ」9～11月

〈新収蔵品展〉1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

○入門のための文学創作教室〈7月 講演会・12月 エッセイ教室(高校生)・2月 エッセイ教室(一般)〉

〈活動内容〉

春の特設展、秋の企画展関連講演会・朗読公演会・講演会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回(一般)、高校生文学散歩(1回)、子ども映画会・ワークショップ 年間文学講座 名作映画鑑賞会 読書会(協力会)お話の森朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説 各種講師派遣事業 移動文学館 リーディングシアター2013 in 文学館

〈第22回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H26年3月初め発表

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供

○閲覧室資料紹介・富士をめぐる文学・ぼくのヒーローわたしのヒーロー・与謝野晶子の世界・装幀の美

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介・飯田蛇笏・樋口一葉・太宰治・飯田龍太・辻邦生・山崎方代・芥川龍之介

○書庫見学 6/15(土):27人 11/20(水・県民の日) 午前・午後各1回

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会員による企画展・常設展の解説ボランティアの育成と実施

芸術の森公園アートツアー(SPSやまなし自主事業)ミュージアム甲斐in(会員)募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

平成26年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開

〈常設展〉年四回春夏秋冬展示替えに加え、次の資料を期間限定公開また夏と冬は特別コーナーを設置

・春 林真理子「白蓮れんれん」原稿など ・夏 甲州の近世文学より 辻嵐外、五味可都里

・秋 山崎方代生誕百年 ・冬 會津八一 書画・書簡より ・秋～冬 村岡花子コーナー

第1室 山梨の文学風土(甲斐のうた・甲州の近世文学) 樋口一葉(朗読コーナー)

第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち

井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代等 21作家のコーナー

第3室 芥川龍之介 生涯(誕生・少年時代・作家として・晩年)・書画・俳句・山梨との関わり朗読コーナー

第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 生涯と作品

第5室 前期(9月まで)小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡 後期(3月まで)詩・短歌・俳句・川柳・漢詩

〈春の企画展〉開館25周年記念企画展「村岡花子展」4月～6月

〈夏休み展示〉開館25周年記念特設展「本のおしゃれ」7月～8月 併設特別コーナー「村岡花子と柳原白蓮」

〈秋の企画展〉開館25周年記念企画展「谷崎潤一郎展 文豪に会おう」9～11月

〈新収蔵品展〉1月～3月

【教育普及／学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

○入門のための文学創作教室〈7月 津島佑子小説教室・10～11月 初心者短歌教室〉

○教員研修(外部共催)〈7月一般教員〉〈11月初任者〉

〈活動内容〉

春の企画展、秋の企画展関連講演会・講演会・講座・教師のための学習会・朗読公演会・文学散歩2回(一般)、子ども映画会・ワークショップ 年間文学講座 名作映画鑑賞 読書会(協力会)お話の森朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説 各種講師派遣事業 移動文学館 リーディングシアター2014 in 文学館

〈第23回やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定 11月末日締め切り H26年3月初め発表

【資料情報／収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供

○閲覧室資料紹介・村岡花子と赤毛のアン・名作童話館・村岡花子の世界・谷崎潤一郎の世界・美味礼賛作家の食卓

○文学者の誕生日にちなんだ資料紹介・飯田龍太・辻邦生・山崎方代・檀一雄・井伏鱒二

○美術館特別展関連資料紹介～近代文学とミレー

○書庫見学 6/14(土):43人 11/20(水・県民の日) 午前・午後各1回

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会員による企画展・常設展の解説ボランティアの育成と実施

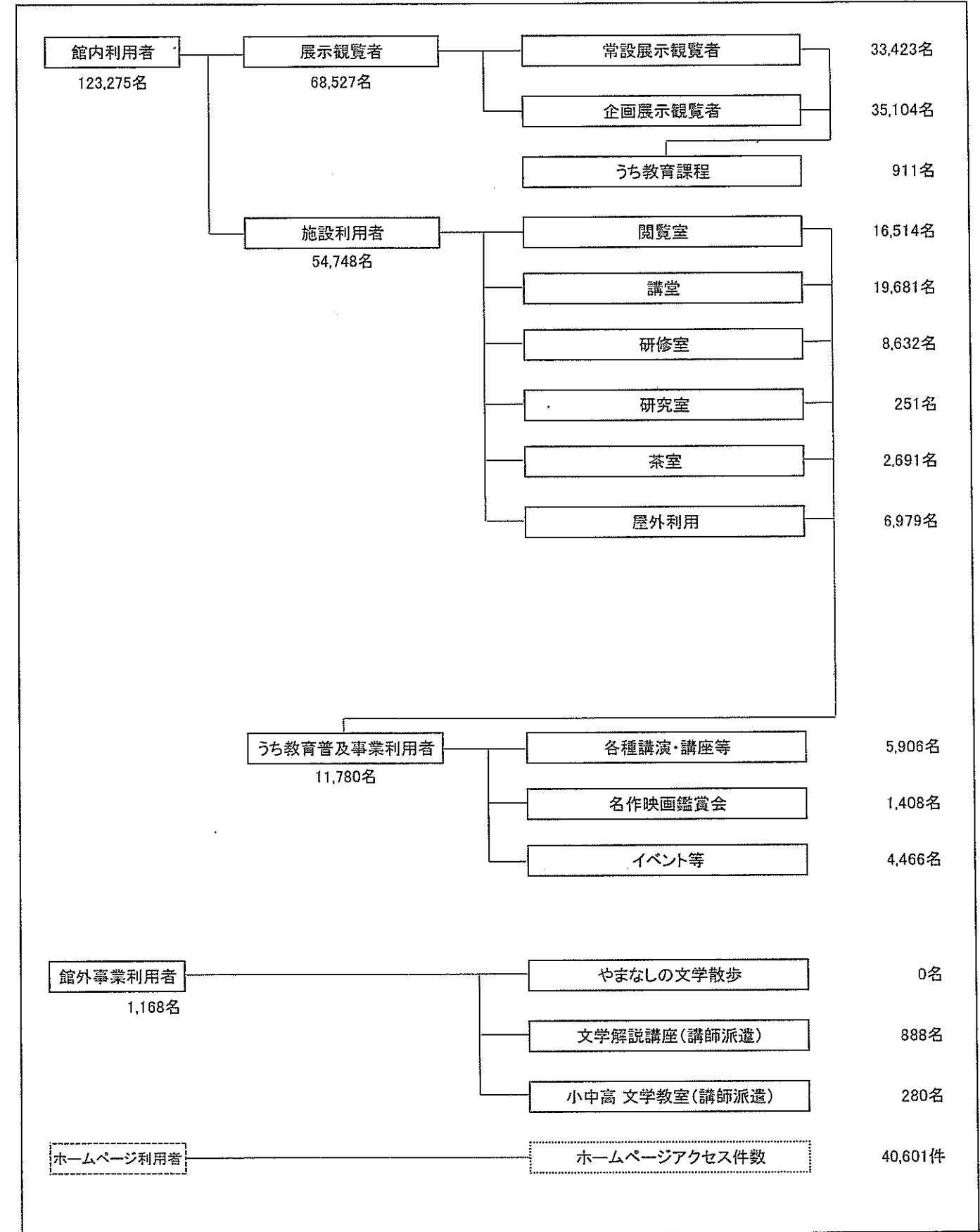
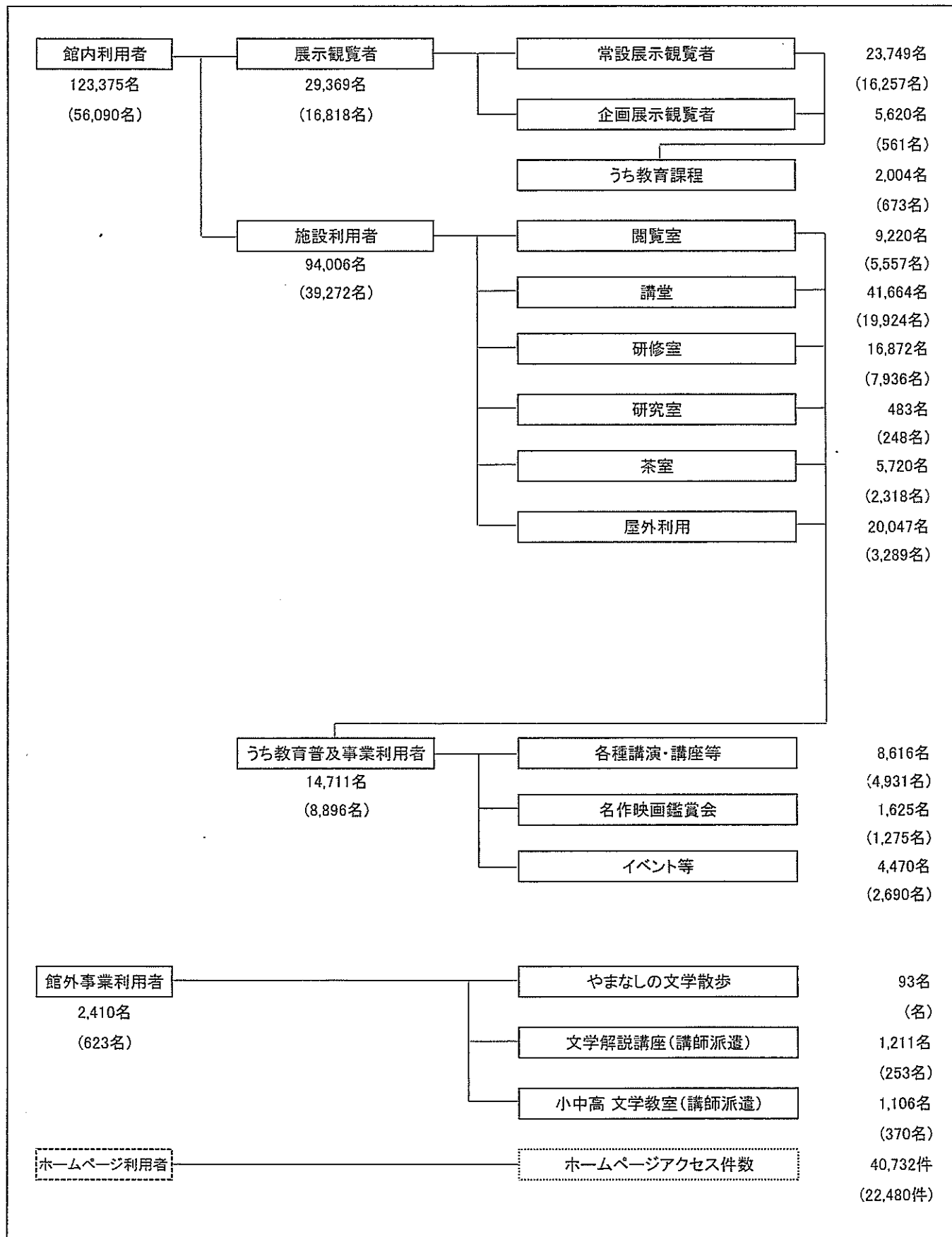
芸術の森公園アートツアー(SPSやまなし自主事業)ミュージアム甲斐in(会員)募集事業

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報

文学館における「利用者」の状況

平成25年度実績。()内は9月末現在

平成26年9月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	312	23,749	5,620	29,369
26	160	33,423	35,104	68,527
計	7,326	729,971	376,633	1,106,604

平成26年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	27	3,674	136
5	27	6,315	234
6	25	9,358	374
7	27	3,014	112
8	29	9,090	313
9	25	1,972	79
10			
11			
12			
1			
2			
3			
計	160	33,423	209

平成25年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,225	47
5	27	2,152	80
6	26	1,522	59
7	26	3,101	119
8	28	6,773	242
9	25	1,484	59
10	28	1,840	66
11	28	2,881	103
12	24	420	18
1	26	474	18
2	22	566	26
3	26	1,311	50
計	312	23,749	76

9月 まで	158	16,257	103
----------	-----	--------	-----

前年比 205.6%

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

合計 1,378,572名

企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
2	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旅の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と「明星」	38	9,471	249
4	飯田蛇笏展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎方代展	54	6,020	111
6	中村星湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレー展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	田中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨摩の文学	93	7,939	85
9	前田晁・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の宴	56	4,757	85
10	画文交響 飯田蛇笏をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と檀一雄	56	4,951	88
13	夏目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展Ⅰ	44	4,165	95
16	樋口一葉展Ⅱ	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	57	4,214	74
19	高村光太郎 いのちと愛の軌跡	53	4,792	90
19	宮沢賢治 若き日の手紙	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎方代展	50	3,589	72
22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	339
22	井伏鱒二と飯田龍太	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	3	260	87
	計	2,622	376,633	144

特設展観覧者数

年度	名称	開催日数	観覧者数	一日平均
H2	山梨と高浜虚子	33	8,785	266
H3	辻嵐外と嵐外十哲	33	8,996	272
	たけくらべの世界	36	10,378	288
	映画と文学	36	9,814	272
	文学者の扇面と年賀状子規がいて、漱石がいて、さうして…	22	2,327	105
H4	新収蔵資料より「近世の俳人 五味可都里と辻嵐外」	48	12,152	253
	佐野四郎の世界-富士見ゆる丘より	54	6,650	123
H5	やまなしの自然と文学	56	6,973	124
	五味可都里と蟹守の周辺	53	8,648	163
	芥川龍之介 草稿の世界	66	8,876	134
	野尻抱影 書簡の世界	51	5,519	108
H6	歌人の手紙	33	4,220	127
H7	やまなし文学賞の受賞者たち	44	3,756	85
	中村星湖への手紙	56	3,324	59
H8	『豹・レオパール』の詩人たち-宮田柁夫資料より-	24	1,861	77
	蛇笏山脈の人-西島委南・松村蒼石・榎本虎山-	57	3,629	63
H9	芥川龍之介の草稿	55	5,932	107
	村松定孝氏収集	32	1,274	39
H10	児童文学-山梨ゆかりの作家群-	50	3,778	75
	鳴山草平資料	23	757	32
H11	山岳関連名著展-百瀬舜太郎コレクションより-	41	4,202	102
H12	脚本家・菊島隆三と竹内勇太郎	34	2,019	59
	山梨の文芸誌-大正から昭和初期	42	1,068	25
H13	やまなしの児童文芸-「赤い鳥」「金の船/金の星」「童話」を中心に-	41	2,086	50
	山梨の文芸誌-戦後から現代まで-	41	1,121	27
H14	足立源一郎『日本の山旅』スケッチ画と山の文学	66	4,013	60
H15	山梨の農民文学	38	1,947	51
H16	山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
H17	山梨のアララギ派歌人展「伊藤左千夫・三井甲之・神奈桃村・岡千里・日原無限を中心に」	34	1,393	40
H18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
H19	天空をめぐる物語 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」	33	4,100	124
H20	すべての子どもたちへ 芥川龍之介「蜘蛛の糸」	32	2,909	90
H21	H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま」-青い瞳の涙-	30	3,027	100
	収蔵名品展 (常設展示室リニューアル工事中で常設展観覧料で観覧)	44	3,007	68
H22	くじらぐもからチックタックまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展-	31	10,495	338
H23	手紙を書こう 作家の手紙をお手本に	35	2,686	76
	樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
H24	フランダースの犬	33	5,034	152
	飯田蛇笏展	53	6,553	123
	文学館至宝展 (富士の国やまなし国文祭共催事業)	54	3,490	64
H25	富士山と文学	63	4,549	72
	かいけつゾロリ展	33	8,621	261
H26	本のおしゃれ展(特別コーナー-村岡花子と柳原白蓮)	34	10,309	303
	計	1,766	209,405	118

平成25年度 企画展・特設展など(実績)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	富士の国やまなし国文祭記念事業 特設展 「富士山と文学」	4月27日(土) ～ 7月7日(日)	63日間	4,549人	古くから日本人があこがれと畏敬の念を抱いてきた富士山。 万葉集のうたや太宰治の「富嶽百景」、草野心平の詩など、文学に描かれた様々な富士山を紹介しました。 * 常設展の一環として開催	自主企画 ・常設展の一環として開催
2	特設展 「あそぶぜ! かいけつゾロリのおたのしみ大きくせん ～原ゆたかとゾロリのなかまたち」	7月20日(土) ～ 8月25日(日)	33日間	8,621人	原ゆたかの児童書「かいけつゾロリ」は、1987年にポプラ社から発刊されて以来、子どもたちに大人気のシリーズです。 ゾロリの楽しい世界と作者原ゆたかを紹介し、夏休み期間中に子どもたちに本に親しみ、楽しんでもらう展覧会です。 * 常設展の一環として開催	自主企画 ・常設展の一環として開催
3	富士の国やまなし国文祭記念事業 企画展 「与謝野晶子展 われも黄金の釘一つ打つ」	9月28日(土) ～ 11月24日(日)	53日間	5,620人	明治・大正・昭和を生きた情熱の歌人と謝野晶子(1878～1942)。 晶子は山梨とのゆかりも深く、夫の寛と共に上野原市や富士川町を訪れ、地元の人々と交流し、多くの歌を詠んでいます。 山梨での足跡とともに、短歌・評論・社会運動と、様々な分野に業績を残した晶子の華麗な生涯をたどりました。	自主企画
4	新収蔵品展 手書きの魅力 飯田蛇笏・足立源一郎・田中冬二・ 山本周五郎・深沢七郎ほか	平成26年 1月25日(土) ～ 3月23日(日)	50日間	1,880人	平成25年度に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介しました。 * 観覧料無料	自主企画

平成26年度 企画展・特設展など(実績および予定)

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	企画展 「村岡花子展 ことばの虹を架ける ～山梨からアンの世界へ～」	平成26年 4月12日(土) ～ 6月29日(日)	69日間	34,880人	山梨県甲府市に生まれた村岡花子(1893～1968)は、こどもたち・少女たちのため、夢に溢れる童話や翻訳小説を世に送り出しました。代表作「赤毛のアン」シリーズは、刊行から60年以上を経た今日もなお、多くの読者に愛されています。一方、佐佐木信綱の門下で短歌を学び、生涯を通じて、折々の思いを詠んだ数々の歌を残しています。村岡花子への関心が高まっている今、波瀾にみちた生涯とその文学の原点をさぐります。	自主企画
2	特設展 「本のおしゃれ」	平成26年 7月19日(土) ～ 8月24日(日)	34日間	10,309人	電子書籍で読書を楽しむ人が増える一方、美しく装幀された本や雑誌が改めて注目を浴びています。夏目漱石『吾輩ハ猫デアル』、泉鏡花『遊里集』、深沢七郎『檜山節考』など、個性豊かに装飾された名著の数々を紹介します。	自主企画 ・常設展の一環として開催。 ・特別コーナー「村岡花子と柳原白蓮」併設。
3	企画展 「谷崎潤一郎展—文豪に会う」	平成26年 9月27日(土) ～ 11月24日(月・振替休日)	54日間	人	明治・大正・昭和にわたり小説を書き続け、「痴人の愛」「春琴抄」「細雪」など現代に読み継がれる名作を残した谷崎潤一郎(1886～1965)。本展では谷崎潤一郎の生涯と豊饒な作品世界に迫り、時代に残した足跡をたどります。 * 自主企画・企画展	自主企画 ・常設展の一環として開催
4	新収蔵品展(仮称)	平成27年 1月24日(土) ～ 3月22日(日)	50日間	人	平成26年度に新たに収蔵した資料を中心に、作家の原稿や書簡など貴重な直筆資料の数々を紹介します。	自主企画 ・観覧料無料で公開

【平成25年度 教育事業について】平成26年3月末日現在

1. 企画展・特設展関連事業

(1) 特設展 「富士山と文学」

月日	事業名	演題	講師	参加者数
5/30 (木)	文学講座	「富士山を詠った詩歌」	高室有子 (当館学芸員)	96人
6/2 (日)	講演会	「文藝よもやまばなし」	講師 近藤信行 (前 文学館館長)	130人
6/6 (木)	教師のための学習会		高室有子 (当館学芸員)	25人

(2) 夏の特設展 平成25年7月20日(土)～8月25日(日)
「かいけつゾロリのおたのしみ大きくせん～原ゆたかとゾロリのなかまたち」

月日	事業名	演題	講師	参加者数
7/20 (土)	ゾロリのお絵かき会		原ゆたか	130人
7/20 (土)	原ゆたか・原京子サイン会		原ゆたか、原京子	150人
7/21 (日)	ゾロリのお絵かき会		原ゆたか	150人
7/21 (日)	原ゆたか・原京子サイン会		原ゆたか、原京子	150人
8/11 (日)	原ゆたか・原京子サイン会		原ゆたか、原京子	300人

(3) 企画展 平成25年9月28日(土)～11月24日(日)
「与謝野晶子展～われも黄金の釘一つ打つ～」

月日	事業名	演題	講師	参加者数
9/28 (土)	講演会	「与謝野晶子という生き方」	林真理子	500人
10/10 (木)	教師のための学習会		保坂雅子 (当館学芸員)	15人

10/24 (木)	文学講座	保坂雅子 (当館学芸員)	95人
11/4 (月)	講演会「「自立」を問う人ー与謝野晶子の評論を読む」	金井景子 (日本文学研究者)	100人
11/14 (木)	講演会「星君なりきー晶子晩年の魅力」	三枝昂之 (当館館長)	115人
11/23 (土)	講演会「あらためて読む『みだれ髪』」	今野寿美 (歌人)	115人

3. 教育普及事業 (企画展・特設展を除く)

(1) 年間文学講座

期間	事業名	演題	講師 (職名)	参加者数
5/23 6/13 7/18 8/22 9/19 10/17 11/21 12/19	文学講座1 (全8回) 講堂	テーマ 「源氏物語の女君たち」	池田尚隆 (山梨大学 教育人間科学部教授)	1148人
5/11 6/8 7/6 8/3 9/7 10/19 11/16 12/14	文学講座2 (全8回) 研修室	テーマ「今、「村上春樹」を読むということー初期作品群群読ー」	小菅健一 (山梨英和大学教授)	890人
5/30 6/27 9/12 10/24	文学講座3 (全4回) 研修室	山梨の文学	文学館職員	356人

(2) 名作映画鑑賞会

月日	題名	原作者	参加者数
5/26 (日)	「東海道四谷怪談」	原作 鶴屋南北 監督 中川信夫	140人
6/30 (日)	「静かなる決闘」	監督 黒澤明 出演 三船敏郎	260人
7/28 (日)	アニメ「サイボーグ009」	原作 石ノ森章太郎 声の出演 太田博之	100人

8/24 (土)	アニメ「かいけつゾロリ だ・だ・だ・大ぼうけん！」	原作 原ゆたか 声の出演 山寺宏一	515人
9/29 (日)	「ビルマの竖琴」	原作 竹山道雄 監督 市川崑	260人
10/27 (日)	「宗方姉妹」	原作 大佛次郎 監督 小津安二郎	150人
11/24 (日)	「おふくろ」	原作 田中千禾夫 監督 久松静児	200人

(3) 朗読公演会

月日	事業名	演題	講師	参加者数
6/1 (土)	お話の森朗読会①		溝口朗読サークル	90人
8/8 (土)	お話の森朗読会②		橡の会	100人
11/9 (日)	朗読公演会「ピノッキオ」		こんにゃく座	380人

(4) 文学創作教室

月日	事業名	演題	講師	参加者数
7/7 (日)	小説教室「読むことは書くこと、書くことは読むこと」		堀江敏幸（早稲田大学教授・作家）	120人
12/18 (水)	高校生向け創作教室 エッセイ教室「エッセイはいかに書くか」		水木 亮（作家）	48人
2/8 (土)	一般向け創作教室 エッセイ教室 「あなたも魅力的なエッセイを書こう」		水木 亮（作家）	24人

(5) 子どもワークショップ

月日	事業名	講師	参加者数
7/6 (土)	国文祭ウエルカムイベント ・活字ホルダーでゾロリの名刺作り ・ゾロリのエコバックを作ろう		95人
7/15 (月)	夏休みプロジェクト ・活字ホルダーでゾロリの名刺を作ろう ・ゾロリのエコバックをつくろう		115人
7/31 (水)	「活版印刷体験！ゾロリのポストカードとマイノートを作ろう」	印刷博物館	109人

8/21 (水)	佐藤文香さんとあそぶ夏休み 俳句シャワーでバビル星人をたおせ！	佐藤文香（俳人）	25人
9/14 (土)	歌舞伎ワークショップ	市川喜昇・市川喜猿	60人
12/8 (日)	クリスマス会	ステファノ・ヴィエロ	64人
1/5 (土)	百人一首教室	清水章子 （竜王かるた会会長）	42人

(6) 学習ガイド

県出身又はゆかりの文豪、作品についての学習資料集を作成し、小・中・高等学校、各市町村立図書館等に配付したり、文学教室で活用する。学習ガイドの増刷、楽しみながら展示を理解できるように、ワークシートや展示クイズを作成し活用する。

(7) ジュニアインターンシップ（職場体験学習）・学芸員実習

7/28～31 中央高校 3人
8/17～22 山梨大学 1人
山梨県立大学 2人
8/17～18 城南中学校 3人
7/9～7/14 学芸員実習 5人

(8) 文学教室・解説

小学校 19校 (564人)
中学校 34校 (446人)
高等学校 19校 (800人)
大学校 2校 (51人)
一般 12団体 (393人)

(9) 講師派遣事業

小学校 4校 (200人)
中学校 3校 (887人)
高等学校 2校 (952人)
一般 7団 (285人)

(10) 石川啄木パネル貸し出し

小中高校 37校 (7098人)

(11) 各種団体への普及活動

- 5/2 甲府支部校長会 (30人)
- 5/7 高校校長会 (70人)
- 5/15 峡南地区校長会 (45人)
- 5/16 東山梨支部校長会 (35人)
- 5/23 北巨摩支部校長会 (30人)
- 6/11 笛吹支部校長会 (21人)
- 6/13 中巨摩支部校長会 (55人)
- 6/27 甲府地区学校司書部会 (42人)
- 2/25 北巨摩支部 (30人)・甲府支部校長会 (50人)
- 2/27 東山梨支部 (35人)・中巨摩支部校長会 (55人)
- 3/4 笛吹支部 (21人)・峡南支部 (40人) 南都留支部校長会 (46人)
- 3/24 高校校長会 (45人)

内容 : 小中学生の朗読発表・高校生の朗読発表

参加者 : 10校 (85人)

6. その他

文学散歩 (委託事業)

企画実施 やまなし観光推進機構

委託先 NPO法人「つなぐ」

与謝野晶子関連の上野原の文学散歩

平成25年10月20日(日)・26日(土) 参加者 計93人

4. やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門 : 坂上 弘 津島佑子 佐伯一麦

評論部門 : 菅野昭正 高田 衛 十川信介

応募総数 小説部門 265編

研究・評論部門 118編 (自薦 21編・他薦 97編)

26年2月12日 研究評論部門選考会 20日 小説部門選考会

3月13日 表彰式

6月 小説部門受賞作単行本刊行

5. リーディングシアター2013 in 文学館

新しい教育課程全面実施の中で現在各学校が教科を超えて取り組む『言語活動の充実』の一助として、小中学校の日頃の学習の成果の発表の場を作り、児童生徒の学習の目的意識や相手意識の構築をサポートすることを目的とする。

児童生徒がお互いの発表を聴き合い、また、大人の方にも聴いてもらう交流の場をつくり、朗読の楽しさを味わい、更に読書への興味・関心・意欲を育てることにねらいとして企画する。

日時 : 平成25年12月15日(日) 1:30~

会場 : 文学館講堂

1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展 「村岡花子展」

企画展「村岡花子展」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
4月26日	村岡恵理講演会 「村岡花子と甲府」	村岡 恵理 (作家、赤毛のアン記念館・村岡花子文庫主宰)	483
5月5日	赤毛のアン 寄せ植えWS	望月 優 (県立農林高校教諭)	37
5月6日	茂木健一郎講演会 「赤毛のアンに学ぶ、脳の力を引き出す方法」	茂木 健一郎 (脳科学者)	470
5月18日	赤毛のアン お料理WS	浅野 公子 (栄養士)	35
5月31日	三枝昂之講演会 「をみななれば—村岡花子・短歌の魅力」	三枝 昂之 (当館館長)	420
6月14日	英語劇WS	小口ますみ (英語芸術学校マールス代表)	138
6月19日	講座 「村岡花子の言葉」	高室 有子 (当館学芸員)	120
6月17日	教師のための学習会	高室 有子 (当館学芸員)	26
合計			1,729

(2) 企画展「谷崎潤一郎展」

企画展「谷崎潤一郎展」関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
10月5日	講演会 「『細雪』と非常時のことば	高橋源一郎 (作家・明治学院大学教授)	
10月12日	映画会 「細雪」		
11月3日	講演会 「『細雪』の女たち	千葉俊二 (早稲田大学教授)	
10月9日	講座 「谷崎潤一郎と河口湖」	中野和子 (当館学芸員)	
10月28日	教師のための学習会	中野和子 (当館学芸員)	
合計			

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講 師	事業名・演題	月 日	参加人数
池田尚隆 (山梨大学教授)	文学講座1 (全8回) 講堂 テーマ「歴史の中の枕草子」 土曜日 14:00~90分	5月17日	174
		6月21日	171
		7月19日	155
		8月16日	119
		9月20日	121
		10月4日	
		11月15日	
		12月20日	
小計			740
新保祐司 (文芸評論家・都留文科 大学教授)	文学講座2 (全8回) 講堂 テーマ「小林秀雄をめぐる文学者たち」 木曜日 14:00~90分	5月22日	95
		6月26日	93
		7月24日	70
		8月28日	61
		9月25日	73
		10月23日	
		11月27日	
		12月25日	
小計			392
保坂雅子 小俣岳 伊藤夏穂 (当館職員)	文学講座3 (全3回) 研修室 テーマ「山梨の文学」 木曜日 14:00~70分	8月21日	34
		9月11日	35
小計			69
合計			1,201

(2) 名作映画館紹介

月 日	題 名	情 報	参加人数
5月25日	(アニメ) 赤毛のアン グリーンゲートルズへの道	原作：モンゴメリ 監督：高畑勲	400
6月29日	秘密の花園	原作：バーネット 総監督：フランシス・フォード・コッポラ	300
8月3日	銀河鉄道999 君は戦士のように生きられるか	原作：松本零士 声の出演：野沢雅子	183
8月24日	長くつをはいたネコ	声の出演：竹中直人	230
9月28日	黒蜥蜴	原作：三島由紀夫 出演：美輪明宏・三島由紀夫	295
10月26日	太平洋ひとりぼっち	原作：堀江謙一 監督：市川崑	
11月23日	お遊さま	原作：谷崎潤一郎 監督：溝口健二	
合計			1,408

(3) 朗読講演会

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
6月7日	お話の森	溝口朗読サークル	77
8月17日	お話の森	朗読サークルつばさ	49
11月8日	朗読講演会	深沢敦	
合計			127

(4) 文学創作教室

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
7月6日	一般・高校生対象 創作教室「文学の場所」	津島佑子（作家）	102
10月2日	短歌教室（講義・実作）「初心者短歌教室」	三枝昂之（当館館長）	
10月16日	短歌教室（講義・実作）「初心者短歌教室」	三枝昂之（当館館長）	
10月30日	短歌教室（講義・実作）「初心者短歌教室」	三枝昂之（当館館長）	
11月13日	短歌教室（講義・実作）「初心者短歌教室」	三枝昂之（当館館長）	
合計			102

(5) 子どもワークショップ

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
7月27日	製本ワークショップ	上島明子（みすず堂）	50
8月6日	江戸の売り声ワークショップ	宮田章司	100
8月9日	からくり屏風ワークショップ	片岡屏風店	57
1月10日	百人一首教室	清水章子（竜王カルタ会）	
7月20日	夏休みプロジェクト	普及	400
合計			607

(6) リーディングシアター 12月14日（日）

参加校	発表テーマ	参加人数
合計		

(7) ジュニアインターンシップ・職業体験

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
8月5日	山梨大学		2
8月6日	山梨大学		2
8月7日	山梨大学		2
8月8日	山梨大学		2
8月9日	山梨大学		2
8月6日	玉幡中学校		2
8月6日	城南中学校		2
合計			14

(8) 文学解説（展示解説・視察対応）

月 日	講 座 名	対 象 者	参加人数
4月8日	都留文科大学国文学科オリエンテーション	大学生・引率教授	162
4月12日	ギャラリートーク「村岡花子展」関連	一般	40
4月18日	南アルプス市教育委員会	一般	30
4月26日	上野原中学校	下見	2
5月8日	甲府水晶協会	下見	6
5月8日	明見中学校	下見	1
5月9日	ことぶき勸学院映東教室	院生	24
5月14日	あたご協会	一般	30
5月16日	ことぶき勸学院映南教室	下見	1
5月24日	三越バスクラブ	一般	20
5月29日	和の会	一般	14
5月31日	ギャラリートーク	一般	10
6月5日	長野県高井郡老人学級	老人学級	60
6月6日	ことぶき勸学院映南教室	院生	25
6月7日	昭和町教育委員会	昭和町民	15
6月10日	インドネシアプロモーション	インドネシア旅行下見	6
6月10日	京王バスツアー	旅行団	105
6月11日	埼玉旅行団	下見	2
6月12日	田富町立図書館	図書館利用者	6
6月13日	神奈川近代文学館	文学散歩参加者	40
6月13日	民間放送学園協議会	一般	8
6月17日	ことぶき勸学院北都留教室		20
6月17日	北社市湧水の会	一般	12
6月18日	神奈川近代文学館	文学散歩参加者	40
6月19日	横浜磯子教会	一般	43
6月19日	ギャラリートーク	一般	20
6月25日	神奈川近代文学館	文学散歩参加者	40
6月26日	多摩市文庫連絡協議会	一般	11
7月2日	村岡花子ゆかりの山梨会	一般	13
8月7日	中巨摩教員国語研究会	教職員	20
8月8日	銚子国語サークル	教職員	20
8月20日	朝日旅行一団	一般	32
8月20日	御殿場西高校教員研修	教職員	40
8月21日	ギャラリートーク		20
8月26日	吉祥女子（淑美会）	一般	40
8月28日	吉祥女子（祥美会）	会員	100
8月30日	中道地区文化協会	会員	22
9月27日	防災新館記念事業	一般	25
9月28日	視覚障がい者福祉協会講演会	会員	58
合計			1,182

(9) 山梨の文学解説講座(他会場への講師派遣事業)

月 日	講 座 名	対 象 者	参加人数
4月16日	「村岡花子」の生涯	大月老人さつき学級	20
5月8日	「村岡花子」の生涯	大月老人大学	230
5月25日	「村岡花子」の生涯	甲府穴切地区	60
6月27日	「村岡花子」の生涯	山梨県立大学	25
7月17日	山梨の先人に学ぶ「村岡花子」1	県民	140
7月20日	「村岡花子」の生涯	南部町立図書館	50
8月1日	「翻訳家 村岡花子と甲府」	甲府警察署	130
8月2日	「村岡花子と山梨」	津田塾大学同窓生	20
8月7日	山梨の先人に学ぶ「村岡花子」2	県民	80
9月6日	第14回ふじセッション講演会	富士吉田市民	50
9月28日	長寿会主催研修会	福祉協会	58
11月15日	市民自由講座「富士山と文学」	八王子市民	
11月20日	県政出張講座	市川三郷町民	
11月23日	文化講演会「村岡花子について」	福祉協会	
合計			805

(10) 小・中・高等学校文学教室(出前授業)

月 日	講 座 名	対 象 者	参加人数
7月9日	ミニ俳句甲子園	石和中学校	280
合計			280

(11) 小・中・高等学校教育課程対応

月 日	内 容	対 象 者	参加人数
4月15日	県内めぐり	明野中学校	5
4月16日	県内めぐり	白根御勅使中学校	12
4月17日	県内めぐり	増穂中学校	4
4月18日	県内めぐり	玉幡中学校	4
4月23日	校外学習	上野原高校	187
5月9日	校外学習	下部中学校	3
5月10日	校外学習	英和中学校	65
5月13日	県内めぐり	白根巨摩中学校	10
5月14日	県内めぐり	田富中学校	6
5月15日	県内めぐり	韮崎西中学校	12
5月15日	県内めぐり	大月東中学校	7
5月16日	県内めぐり	小淵沢中学校	11
5月16日	県内めぐり	櫛形中学校	5
5月17日	県内めぐり	長坂中学校	12
5月20日	県内めぐり	八田中学校	2
5月21日	校外学習	早稲田高等学院	173
5月21日	県内めぐり	上野原中学校	18
5月22日	県内めぐり	双葉中学校	14
5月23日	県内めぐり	明見中学校	4
5月23日	県内めぐり	敷島中学校	30
5月29日	県内めぐり	甲西中学校	3
5月29日	県内めぐり	押原中学校	13
5月29日	県内めぐり	芦安中学校	1
6月5日	校外学習	甲斐清和高等学校	42
6月6日	校外学習	開成中学校	205
6月12日	校外学習	新田小学校6年	41
6月17日	校外学習	新田小学校4年	28
6月18日	校外学習	新田小学校3年	37
6月20日	校外学習	山梨大学附属中学校	12
7月10日	林間学校	国本小学校	115
7月27日	美術部見学	春日居中学校	17
7月30日	美術部見学	甲府東中学校	22
9月10日	校外学習	塩山高校	183
9月20日	校外学習	駿台甲府高校	248
合計			1,538

5月17日 県内めぐり
日川高校 4

(12) 小・中・高等学校移動文学館(アウトリーチ)

月 日	利用学校名	セット	対象人数
4月24日	境川小学校	B	277
4月24日	中央高等学校	B	406
5月12日	河口湖南中学校	A	670
5月12日	西浜中学校	A	35
6月6日	西浜中学校	B	35
6月6日	富士河口湖高校	B	856
6月7日	湖北中学校	A	115
6月7日	勝山中学校	A	100
7月1日	富士吉田中学校	A	513
7月1日	下吉田中学校	A	561
7月1日	ひばりヶ丘高校	B	145
9月12日	小淵沢中学校	B	159
合計			3,872

利用教材 A:石川啄木セット B:龍太・蛇笏のちまちな人形セット

(13) 外部共催研修

月 日	企画名	対 象 者	利用人数
7月31日	教育センター共催教員研修	教職員	27
11月21日	平成26年度 初任者研修	教職員	
合計			27

(14) 各種団体への普及活動

月 日	普 及 内 容	対 象 者	利用人数
6月3日	県下一斉校長会・教頭会	各学校校長・教頭	420
7月7日	教育事務所	事務所員	60
9月19日	高文連	高校教員	50
10月7日	南都留支部校長会	学校長	
10月7日	笛吹支部校長会	学校長	
10月14日	甲府支部校長会	学校長	
10月21日	東山梨支部校長会	学校長	
11月4日	中巨摩支部校長会	学校長	
11月4日	高校校長会	学校長	
11月6日	峡南支部校長会	学校長	
11月6日	北都留支部校長会	学校長	
11月6日	北巨摩支部校長会	学校長	
12月6日	北杜市図書館司書研究会	学校図書館司書	
合計			480

3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門：坂上弘・津島佑子・佐伯一麦

研究・評論部門：菅野昭正・十川信介・兵藤裕己

予 定

11月 作品締め切り
27年 2月 選考
3月 表彰式
6月 小説部門受賞作単行本刊行

4 山梨文学散歩(委託事業)

企画実施 やまなし観光推進機構
委託先 NPO つなぐ
内容 峡南地域の文学散歩
実施日時 平成26年 10月19日(日)・25日(土)

過去5年間教育普及事業 実施状況

一般対象		H21	H22	H23	H24	H25	小中高生対象		H21	H22	H23	H24	H25
企画展関連 講演会・講座	回数	14	11	8	6	7	子ども映画鑑賞会	回数	2	2	3	4	2
	人数	2,197	1,076	1,445	1,015	1,431		人数	241	366	373	500	615
	平均人数	157	98	181	170	205		平均人数	121	183	125	125	308
企画展 ギャラリートーク	回数	53	49	31	40	34	子どもワークショップ (朗読教室・詩作教室・俳句教室・他)	回数	1	2	7	3	11
	人数	1,178	900	553	500	513		人数	30	110	528	163	1,335
	平均人数	23	19	18	13	16		平均人数	30	55	76	55	122
年間文学講座Ⅰ・Ⅱ 古典文学・近代文学	回数	16	16	16	16	16	お話の森朗読会	回数	3	3	2	2	2
	人数	1,332	1,441	1,802	1,872	2,039		人数	201	156	261	230	190
	平均人数	84	91	113	117	128		平均人数	67	52	131	115	95
年間文学講座Ⅲ (館職員による)	回数	6	3	3	5	2	小・中・高等学校・大学 展示観覧・解説	回数	44	68	66	105	74
	人数	375	158	169	235	89		人数	2,243	3,226	1,686	3,464	1,141
	平均人数	63	53	57	47	45	小・中・高等学校 講師派遣事業	回数	8	5	12	14	9
朗読講演会	回数	1	1	1	1	1	人数	810	1,109	1,107	517	2,039	
	人数	500	225	400	220	380							
	平均人数	500	225	400	220	380	小中高生・一般対象						
映画鑑賞会	回数	5	6	8	4	5	創作プログラム (俳句短歌等教室・百人一首教室)	回数	3	4	2	2	3
	人数	1,203	1,941	3,178	1,390	1,010		人数	94	169	190	117	192
	平均人数	241	324	398	348	202		平均人数	32	43	95	59	64
文学散歩	回数	2	2	2	2	2	チャレンジ文学館 (夏休みチャレンジ文学館)	小中高		2,361	1,711	3,737	2,364
	人数	86	76	82	85	83		大人		60	23	33	356
	平均人数	43	38	41	43	42		合計	851	2,421	1,734	3,770	2,720
読書会	回数	10	10	9	11	9							
	人数	103	119	99	149	96	学校対象						
	平均人数	11	12	11	14	11							
一般団体 展示解説 文学解説	回数	49	24	28	39	12	移動文学館 (パネル貸し出し)	回数			14	37	37
	人数	723	389	767	667	393		人数			7,981	17,416	7,098
平均人数						平均人数				571	471	192	
一般団体 山梨の文学 講師派遣事業	回数	17	20	18	29	7							
	人数	765	1,593	934	1,600	285							

過去5年間 教育課程による入館者数(県内)

		H21	H22	H23	H24	平成25年度												
						H25 合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学校	学校数	12	17	14	18	19			2	1			3	4	5	3		1
	人数	503	730	594	696	564			76	38			75	174	60	111		30
中学校	学校数	17	30	37	52	34	4	14	1	2	1		3	1	8			
	人数	418	1,217	737	905	446	37	231	18	23	20		22	6	89			
高校	学校数	8	10	28	20	19		1	1	1			4	4	8			
	人数	727	469	530	1,360	800		124	45	8			27	550	46			
大学 特別支援	学校数	7	6	7	4	4								1	2			1
	人数	595	298	84	268	57								11	5			41
合計	学校数	44	63	86	52	76	4	24	2	3	14	1						
	人数	2,243	2,714	1,945	1,167	1,867	238	437	83	66	85	258						

平成25年度 閲覧室事業実施状況

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。
また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
富士をめぐる文学 富士山は日本の象徴として世界にも広く知られ、魅了された人々は様々な形で富士を描いた。特設展「富士山と文学展」にあわせ、富士に魅せられた文学者の作品の数々を紹介する。	平成25年4月27日(土) ～ 7月7日(日)
ぼくのヒーローわたしのヒーロー 時代を越えて、多くの人々に親しまれてきた名作の中のヒーローたち。魅力的な主人公が活躍する物語は、私たちの胸をわくわくさせる。児童文学作品など、登場するヒーローたちを紹介する。	平成25年7月20日(土) ～ 8月25日(日)
与謝野晶子の世界 与謝野晶子は、歌人、古典文学研究者、教育者、そして女性の自立の推進者として活躍し、山梨にもたびたび足を運んだ。秋の企画展「与謝野晶子展」にあわせ、歿後70年を経た晶子の、新たな魅力をさぐる。	平成25年9月27日(金) ～ 11月24日(日)
本のたのしみー装幀と挿絵ー 表紙や扉の絵、タイトルの文字、カバーや箱など、1冊の本には、様々な意匠が施される。著名な画家や思いがけない作家が手掛けたものなど、作品とともに見る人を魅了する装幀の数々を紹介する。	平成26年2月1日(土) ～ 4月6日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
飯田蛇笏(4/26生)	平成25年4月12日(金)～4月30日(火)
樋口一葉(新暦5/2生)	平成25年5月2日(木)～5月23日(木)
太宰治(6/19生)	平成25年6月5日(水)～6月26日(水)
飯田龍太(7/10生)	平成25年7月3日(水)～7月24日(水)
辻邦生(9/24生)	平成25年9月6日(金)～9月27日(金)
山崎方代(11/1生)	平成25年10月30日(水)～11月20日(水)
芥川龍之介(3/1生)	平成26年2月19日(水)～3月12日(水)

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成25年 6月15日(土) 参加者 27名
 第2回 同 11月20日(水) 県民の日 参加者 67名
 午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

平成26年度 閲覧室事業

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。

また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
村岡花子と赤毛のアン 甲府市で生まれた翻訳家、児童文学作家の村岡花子。その著書、翻訳書、生涯に関する資料や、花子によって初めて翻訳され、今も読み継がれる「赤毛のアン」の世界を紹介する。	平成26年4月11日(金) ～ 6月29日(日)
名作童話館 子どもへの愛情や夢あふれる絵本、美しい挿絵の名作童話。夏の特設展「本のおしゃれ」の開催にあわせて、芥川龍之介、宮沢賢治、井伏鱒二、村岡花子などの作品を絵本や童話で紹介する。	平成26年7月19日(土) ～ 8月24日(日)
村岡花子の世界 村岡花子の著書、翻訳書、生涯に関する資料、佐佐木信綱、柳原白蓮著書など周辺資料を紹介する。	平成26年9月4日(木) ～ 平成27年3月31日(火)
谷崎潤一郎の世界 谷崎潤一郎は「痴人の愛」「春琴抄」、山梨ともゆかりのある「細雪」などの名作を残した。秋の企画展「谷崎潤一郎展」にあわせ、著書、関連資料を紹介する。	平成26年9月26日(金) ～ 11月24日(月)
美味礼賛ー作家の食卓ー 無類の鰻好きの斎藤茂吉、永井荷風のショコラ・コーヒー・紅茶、幸田文の台所など、「食」にこだわった作家は多い。魅力的な「食」にまつわる文学作品の数々を紹介する。	平成27年2月20日(金) ～ 4月12日(日)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展示名	展示期間
飯田龍太(7/10生まれ)	平成26年7月3日(木)～7月24日(木)
辻邦生(9/24生まれ)	平成26年9月11日(木)～10月2日(木)
山崎方代(11/1生まれ)	平成26年10月30日(木)～11月20日(木)
檀一雄(2/3生まれ)	平成27年1月24日(土)～2月12日(木)
井伏鱒二(2/15生まれ)	平成27年2月14日(土)～3月5日(木)

◇美術館特別展関連資料紹介

県立美術館特別展の開催にあわせ、関連資料を紹介する。美術館から文学館への誘客を図り、展示内容への理解・関心を深める機会とする。

展示名	展示期間
近代文学とミレー	平成26年7月18日(金)～8月31日(日)

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。

第1回 平成26年 6月14日(土) 参加者 43名
 第2回 同 11月20日(木) 県民の日

午前・午後各1回

内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など

◇村岡花子展関連特設視聴コーナー(閲覧室)及び村岡花子映像上映(2階ロビー)

村岡花子展に関連し、村岡花子出演のラジオ番組音声やテレビ番組出演映像等を紹介し、文学者への理解を深め、利用の促進を図る。

平成26年4月12日(土)～6月29日(日)

同 7月1日(火)～8月24日(日)

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

(H26.9.30現在)

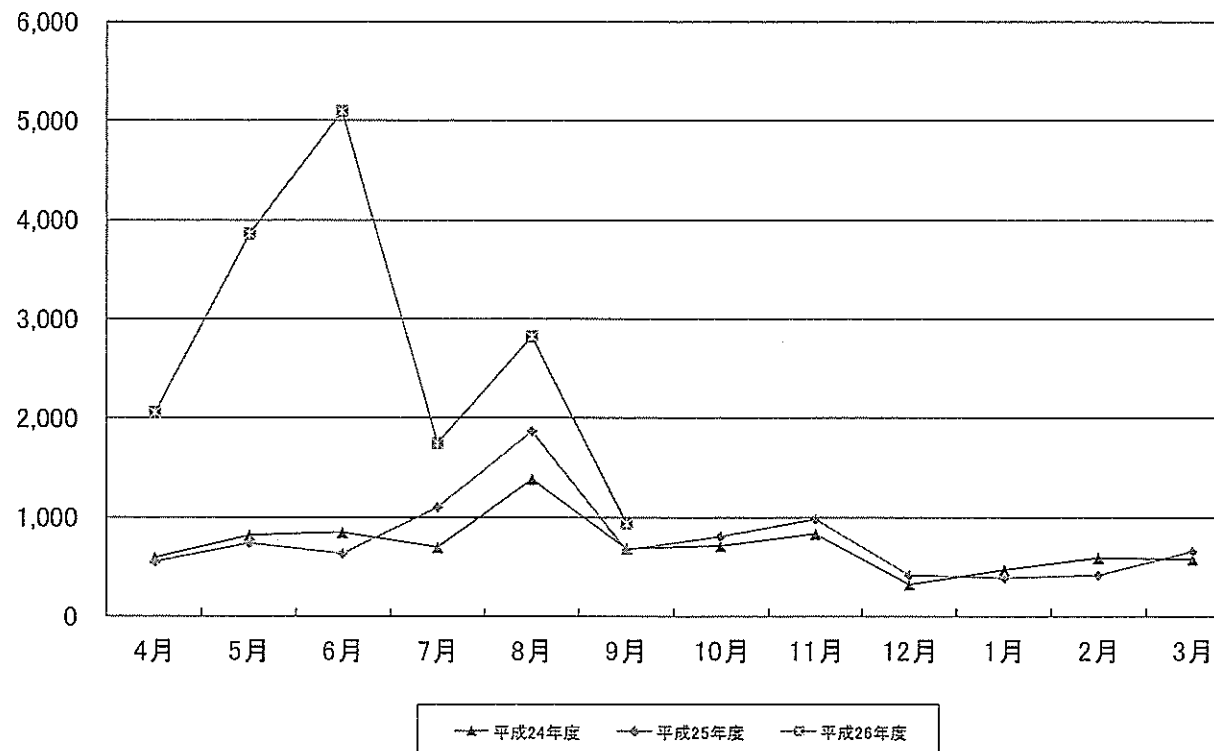
	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数	HPアクセス件数
平成24年度	310	8,524	105	415	2,149	285	5,211	283	823	544	36,889
平成25年度	306	9,210	94	412	2,880	271	8,829	49	2,262	1,077	40,732
平成26年度	160	16,514	45	238	1,383	110	6,912	0	1,286	543	40,601

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (H26.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成24年度	589	814	851	700	1,379	689	712	831	326	465	593	575	8,524	27
平成25年度	543	734	627	1,106	1,872	665	802	985	415	393	414	654	9,210	30
平成26年度	2,052	3,860	5,094	1,746	2,827	935							16,514	103

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (H26.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成24年度	15	26	33	28	38	22	31	30	10	15	14	23	285	1
平成25年度	19	32	37	20	25	26	21	34	12	16	16	13	271	1
平成26年度	20	29	18	28	25	20							140	1

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (H26.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成24年度	951	343	408	407	526	351	705	557	229	227	392	398	5,494	18
平成25年度	1,159	377	700	482	678	379	1,114	1,071	525	760	565	1,068	8,878	29
平成26年度	3,677	854	634	869	416	462							6,912	43

ホームページアクセス件数(月別)

単位:件 (H26.9.30現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均アクセス件数
平成24年度	2,938	3,240	3,048	3,057	3,230	2,904	3,383	3,566	1,995	2,795	3,797	2,936	36,889	101
平成25年度	2,774	3,088	3,661	4,628	5,172	3,157	3,756	3,231	2,344	2,720	2,823	3,378	40,732	112
平成26年度	6,586	8,541	8,124	5,308	8,154	3,888							40,601	222

指定管理者活動トピックス
【1-1】関係各所との連携

文学館の関係各所や、周辺地域と積極的に連携をすることで、文学館の認知度拡大や展覧会の賑わいを創出。文学館が賑わうことが地域や関係各所の賑わいにも繋がる「Win-Win」の関係となるよう、相互協力を行った。



NHK朝の連続ドラマ「花子とアン」のロケ地である甲府市と、文学館で開催中の「村岡花子展」を盛り上げる活動の一環として、美術館どおりに面する店舗等に「花子とアン」ののぼり設置と花子展のポスター掲示協力をお願いした。

NHK朝の連続ドラマ「花子とアン」と文学館企画展「村岡花子展」の関連イベントとして、文学館講堂にて「NHKスタジオパークin甲府」が生放送。文学館とNHKの共催による開催であり、放映の中で、文学館や「村岡花子展」の紹介されるなど、展覧会の賑わい創出に繋がる活動となった。

指定管理者活動トピックス
【1-2】企画展「村岡花子展」の広報活動

開催当初より好調に推移した「村岡花子展」観覧者数達成を記念してセレモニーを開催。セレモニーには報道陣の取材も数多く獲得、更に集客に繋がるという良い循環を生み出すことができた。



最終観覧者数は「34,844名」！1日の平均観覧者数は505名となり、開館時の展覧会平均の489名を抜き、歴代1位を記録！

指定管理者活動トピックス
【1-2】企画展「村岡花子展」の広報活動

企画展「村岡花子展」の観覧者獲得のために、旅行会社を中心に団体客の誘致活動を展開。今までにも展覧会ごとにリリース等を配信してきた甲斐もあり、多くのツアー企画を獲得。前年を大きく上回る団体(観覧者)をお迎えすることができた。

	団体数	観覧者数	(ツアー団体数)	(ツアー観覧者数)
平成26年度	122組	3,386名	(43組)	(1,214名)
平成25年度	24組	1,539名	(0組)	(0名)

指定管理者活動トピックス
【1-2】企画展「村岡花子展」の広報活動

文学館 Yahoo!トップページでの紹介

「花子とアン」訪さずゆかりの地 県立文学館は入館者8位!

スポーツニッポンの取材を獲得した結果、紙面への掲載だけではなく、Yahoo!トップページでの紹介に繋がることに、既に「村岡花子展」は終了しているが、文学館の認知度拡大に繋がる広報となった。

指定管理者活動トピックス
【1-3】広報イベントの開催

多くのお客様が来館されるGW期間中の賑わいを創出するため、ワークショップやコンサートなど様々なイベントを組み合わせた事業を展開。茶会を展覧会観覧者にも楽しんでもらえるよう初めて研修室で開催するなど、内容を毎回ブラッシュアップして実施している。

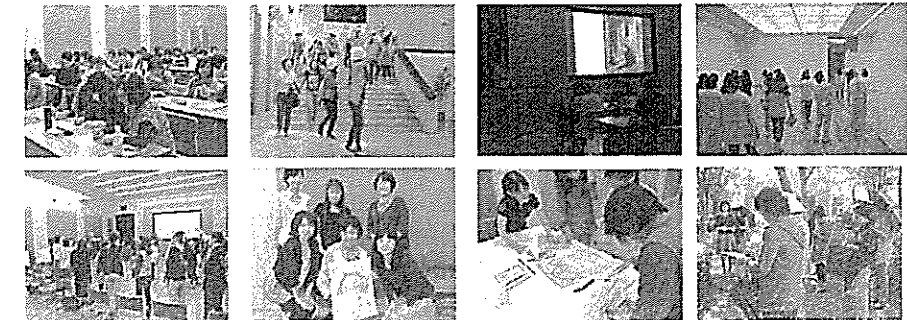


5

指定管理者活動トピックス
【2-1】ホスピタリティデザインの構築

MAスタッフ全体研修
「看視のプロチームになる」を目標に掲げ、「対話」「専門知識」「安全」のキーワードのもとに活動。全体研修はスタッフ自らが今の自分達にどのような研修が必要かを考え、企画している。

2014年3月 前年度振返り、今年度目標共有、監視の心得再確認
2014年6月 ミレー展キックオフ、避難訓練
2014年9月 チームワーク醸成ワークショップ、アートツアー・文学の柱体験



6

指定管理者活動トピックス
【3-1】基盤整備 電力供給会社の変更

近年の電力料金高騰の影響を最小限に抑えるべく、特定規模電気事業者への切替に向けて準備。2014年10月より、新電力会社との契約により電力供給を行う。

【交渉経緯】

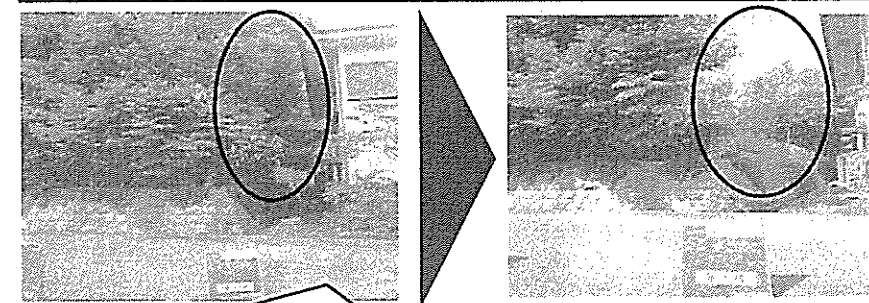
●2012年
特定規模電気事業者5社に切替の打診を行うが、負荷率が高いとの理由で見積さえも取れず

●2014年～
燃料調整費等が更に上昇し、電力料金もそれに伴い上昇。その影響を抑えるべく、再度特定規模電気事業者への切替を検討。結果として、負荷率が高い事業者でも加入が可能な、日本ロジテック協同組合への加入を決定。

7

指定管理者活動トピックス
【3-2】基盤整備 公園内植栽の臨時剪定

芸術の森公園東門近くの民家から寄せられた樹木の剪定要望を受け、県担当課・総務課とも協議した上で、臨時の樹木剪定を実施。今後も民家に影響を及ぼさないように、根元から伐採を行った。



設置後30年以上経過しているも木々も多く、根本的な手入れが必要な段階に来ている。県直営部門と協議しながら、今後も植栽管理を行っていく。

8